

平成 25 年度 調査研究委員協力校

【荒巻小学校】

《本校の OJT キーワード》

みんなでやろう研修 この指とまれ研修
双方向 OJT



希望者が集まって学ぶこの指止まれ研修

1 本校の OJT

2 OJT 実践

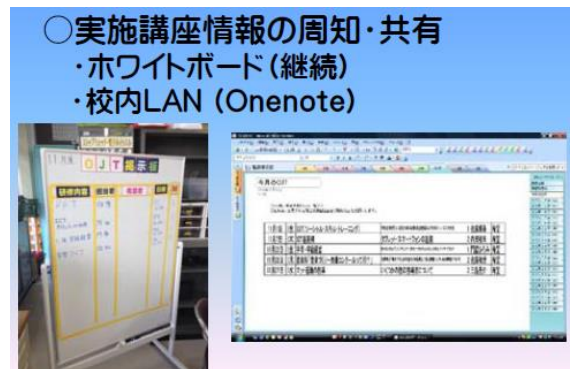
3 OJT に取り組んで

1 本校のOJT

- 校務を遂行する上で、確実に共通理解を必要とする事柄は悉皆での研修を行い、学習指導等に関する事柄は任意での参加とした。

ファシリテーターの働きかけ

- 全体のファシリテーターは**教務主任**が担当している。
- 教職員と本校の**実態**，社会的な**ニーズ**を共有することを促進し，教職員が持つ機能や知識を結び付けられるようにする。
- **15分を1モジュール**で設定し，限られた時間の中で学び合いの時間を設定する工夫をした。
- **ホワイトボードとOneNote**を活用して周知した。



ホワイトボードと OneNote による周知

学び合いの意識化

- **全教職員**が最低一回は，**講座を担当することにした**ことで，自分が持つ職能を体系化して同僚に伝える必要性を意識できるようにした。

氏 名

講座名			
内 容 (簡単に)			
時 間	() モジュール	※ 1 モジュール = 15 分	
実施希望日	第一希望 月 日 ()	第二希望	月 日 ()

教職員が提出する講座担当希望用紙

2 OJT 実践

OJT キーワード

みんなでやろう研修

- 共通理解が必要な事柄は、職員全員で確実に悉皆研修。
 - ・ 正確な事務処理に関わる内容・・・適正な会計処理など
 - ・ コンプライアンスに関わる内容・・・個人情報の取り扱い
 - ・ 安全・保健に関わる内容・・・アレルギー症状への緊急時対応， AED の操作
- ファシリテーターが校内行事や会議等調整し，日程設定。
- 年度初めにアンケートを実施し，校内ニーズの把握と共有。
結果を種類分けして一覧へ。
学校全体でニーズの高い事柄を意識 →学校全体での研修をリストアップ
個人の課題意識 →個人での研修プランニングの資料

(資料) OJTに関するアンケート

以下の各事柄について，関心をもっていたり，自身の課題と感じていたり，くわしく知りたいと思っていたり，身につけたいと考えていたりすること等を記入してください。どんなことでも結構です。校外での研修会等では扱っていないと思われる事柄や，体系化されていないような事柄，「荒巻小学校」で仕事をする上での全てにわたることを対象とお考えください。

・学習指導・・・(例) 教科等の指導に関わる事柄 方法，教材， など

年度当初の
OJT アンケート

「知りたい」アンケート一覧

類別	内容
生徒指導	いろいろな場面における保護者への対応
生徒指導	けんかに関する対応(どうしても言葉よりも手が出てしまう子に対する指導)
生徒指導	保護者への対応(これまでの荒巻小の具体的事例)
その他	理科室の道具について収納場所の確認
その他	理科室及び準備室の備品の収納場所と整理法(もっと分かり易くしたい)
学習指導	発声指導
学習指導	マット運動の指導

アンケートを基に
種類分けした一覧

OJT キーワード

この指止まれ研修

- 個人のニーズに応える内容は、希望者自由参加の研修。
- アンケートを実施し、必要と感じている事柄を共有。
 - ・各教科の指導法
 - ・学級，学年づくり
 - ・教材・教具の使用方法
 - ・校務分掌にかかわる内容
 - ・ICT活用
 - ・ソーシャルスキルトレーニング 等
- 日時や場所は講座担当者が設定。
- 15分1モジュール制。
個人のスケジュールに合わせて参加可能→多忙化の解消

OJT キーワード

双方向 OJT

- 全職員が一講座を講師として担当する。
 - ・複数回の担当も可能。
 - ・新任の先生は、フレッシュ先生1年次研修に代えるため、講師担当なし。
 - ・希望日を別紙「設定可能日一覧」から選んで実施。
- 内容は原則講師一任。
 - ・アンケート結果に応える内容。
 - ・アンケートにはないが、本校で必要と思われる内容。
 - ・全職員で確実に共有・共通理解が必要と思われる内容。

3 OJTに取り組んで

成 果

- 教職員のニーズと、それに応えられる **職場内の人材** を結び付けることで OJT として題材を吟味することができた。
- 全員が講師を担当することで、誰がどのような職能や情報にたけているのかが速やかに周知され、OJT として時間や場所を設定しなくても、個別に指導や助言を求める機会が増えてきた。

今後に向けて

- 学校規模により、人材及び研修内容が限られてしまうので取り扱う内容が偏りがちになったり、学校としての課題に対する内容が不十分になったりした。
- 学校としての課題を全教職員で共有し、個人内の課題と結びつけることができれば一層効果的であった。